

2026 年 4 月入学

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科

博士前期課程（修士）

博士後期課程（博士）

入 学 試 験 要 項

目 次

博士前期課程

1	教育目的	1
2	教育目標	1
3	ディプロマポリシー（学位授与の方針）	1
4	カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）	2
5	アドミッションポリシー（入学者受入の方針）	2
6	教育課程	3
7	募集人員	6
8	募集コース・領域・専門分野・研究指導教員	6
9	出願資格	7
10	出願資格審査（該当者のみ）	7
11	出願期間等	8
12	入学試験	9
13	合格発表	10
14	入学手続・学費等	10
15	長期履修制度	11
16	その他	11
17	様式見本	12

博士後期課程

1	教育目的	19
2	教育目標	19
3	ディプロマポリシー（学位授与の方針）	19
4	カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）	19
5	アドミッションポリシー（入学者受入の方針）	20
6	教育課程	20
7	募集人員	21
8	募集領域・研究指導教員	21
9	出願資格	21
10	出願資格審査（該当者のみ）	22
11	出願期間等	22
12	入学試験	24
13	合格発表	24
14	入学手続・学費等	24
15	長期履修制度	25
16	様式見本	26

交通アクセス（本部北キャンパス）

博士前期課程（修士）

1 教育目的

（大学院看護学研究科規程第2条）

大学院学則に定める大阪医科薬科大学大学院の目的に基づき、本研究科の目的は、次の各号のとおりとする。

- (1) 博士前期課程は、豊かな学識とグローバルな視点を基盤に、看護学の深奥を窮めることができる教育研究者及び高度実践看護専門職者を育成することを目的とする。

2 教育目標

以下の能力を持つ教育研究者及び高度実践看護専門職の養成を目指す。

- ① 人間性豊かでグローバルな視点と多様な文化に対する見識をもち、教育研究者として良質な看護学教育を行うに必要な高度な教育実践能力を育成する。
- ② 人間性豊かでグローバルな視点と多様な文化に対する見識をもち、高度実践看護専門職として良質な看護を行うに必要な卓越した看護実践能力を育成する。
- ③ 学識、社会性のある知的素養の涵養を図り、討論力、課題解決能力、指導力を育成する。

3 ディプロマポリシー（学位授与の方針）

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科博士前期課程では、大学院学則に定める期間看護学研究科に在学し、所定の単位を修得し、教育要項に定める学位授与のために修得すべき内容を修得し、学位論文の審査を経た者に学位「修士（看護学）」を授与する。

学位授与基準

2年以上在学して所定の単位を修得するとともに必要な研究指導を受け、下記の能力を修得して学位論文を提出し、学位論文の審査を経て、最終試験に合格した者には、「修士（看護学）」の学位を授与する。

コース共通

- ① 豊かな人間性と高い倫理観を基盤に教育研究・看護実践の場で倫理的に行動できる。
- ② 教育研究者や看護職者の教育指導ができる高度な知識・技術を有し、論理的・批判的に思考できる。
- ③ グローバルな視点と多様な文化に対する見識をもち、看護学の発展に積極的に貢献できる。

教育研究コース

- ① 専攻分野に関する広く深い知識をもち、教育・研究指導力を身につけている。
- ② 看護現象を論理的かつ科学的に探究するための研究遂行能力を身につけている。
- ③ 看護学教育及び看護実践の質改善に貢献できる。

高度実践コース

- ① 専攻分野において優れた臨床判断能力と看護実践能力を身につけている。
- ② 多職種・組織と連携・協働し、より良いケアを行うために必要な高いコミュニケーション能力と調整能力、指導力を身につけている。
- ③ 看護実践上の課題を明確にし、研究的かつ組織的に課題解決ができる基礎的能力を身につけている。

学位論文審査基準

学位論文の審査及び最終試験は、以下の項目について行われる。

1. 研究目的の合理性
2. 研究の独創性
3. 研究計画、研究方法の妥当性
4. 結果の分析の緻密性、精度
5. 得られたデータに基づく論理的展開
6. 結果の発展性
7. 研究成果の学術上及び応用面での意義

8. 研究課題の背景、意義についての十分な知識
9. 研究遂行における対象者への倫理的配慮
10. 研究結果についての質疑への明晰な応答

4 カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

- ①学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などをあわせもつ教育研究者と高度実践看護専門職者を育成するために、教育研究コースと高度実践コースを設置する。
- ②医療の場及び看護の対象を取り巻く社会状況の変化を鑑み、「実践支援看護学領域」「療養生活支援看護学領域」「地域家族支援看護学領域」の3領域で構成する。
- ③カリキュラムを構成する科目区分として「共通科目」「領域専門科目」「特別研究」をおく。「共通科目」では、哲学、教育学など多岐にわたる科目を配置するとともに、国際的かつグローバルな視点を養うための科目を配置する。「領域専門科目」では、専門領域の専門性を高めるための科目を体系的に編成する。
- ④教育研究コースの「実践支援看護学領域」では看護教育学、看護技術開発看護学、人文社会学、「療養生活支援看護学領域」では移植・再生医療看護学、がん看護学、慢性看護学、精神看護学、老年看護学、臨床医学、「地域家族支援看護学領域」では母性看護学、小児看護学、地域看護学、在宅看護学、社会医学の全14分野を設け、各分野で必要な講義・演習・研究を含む専門科目を配置する。
- ⑤高度実践コース（CNS）の「療養生活支援看護学領域」ではがん看護学、慢性看護学、精神看護学、老年看護学、「地域家族支援看護学領域」では小児看護学の全5分野を設け、各分野で必要な講義・演習・実習・課題研究を含む専門看護師認定試験受験に必要な科目を配置する。
- ⑥高度実践コース（NP）の「地域家族支援看護学領域」ではプライマリケア看護学分野を設け、分野で必要な講義・演習・実習・課題研究を含むナースプラクティショナー認定試験受験に必要な科目を配置する。
- ⑦研究指導は、多角的、効果的に行うため、主指導教員と副指導教員によるグループ指導体制をとる。
- ⑧社会人等のニーズに応えるため長期履修制度を設け、修業年限の弾力化を図る。

上記のように編成した教育課程では、講義、演習、実習等の教育内容に応じて、アクティブラーニング、オンライン教育なども活用した教育を実践する。

学修成果については、シラバスに成績評価基準を明示した上で厳格な成績評価を行う。また、学位審査の実施に際しては、研究科の定める基準により評価する。

5 アドミッションポリシー（入学者受入の方針）

本学の理念を理解し、課題に対する柔軟な思考力と深い洞察力、及び倫理的判断力を自らが培う意欲を持ち、多様な場でリーダーシップを発揮し、グローバルな視点及び知的学識をもって教育研究及び看護実践の向上を担うことへの高い志をもった人を求める。

- ①入学後の修学の基盤となる専門知識、技術をもつ。
- ②多様な場でリーダーシップをとり看護の発展に貢献したいという意欲をもつ。
- ③課題を探究し、解決できる専門職、教育者、研究者を志している。
- ④看護の分野で国際的な貢献をしたいという意欲をもつ。

入学者選抜の基本方針

入学者選抜は、外国語（英語）試験、専門科目試験、面接試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断し、合格者を決定する。

6 教育課程

博士前期課程には、教育研究者を目指す教育研究コースと高度実践看護師を目指す高度実践コースの2コースを設置し、教育研究コースは「実践支援看護学」と「療養生活支援看護学」と「地域家族支援看護学」の3つの領域で構成する。高度実践コースは「療養生活支援看護学」と「地域家族支援看護学」の2つの領域で構成する。

教育研究コースでは、教育者に求められる実践的教育能力を有する人材を養成する。

高度実践コースでは、専門看護師（CNS）・ナースプラクティショナー（NP）に求められる「卓越した実践能力」「教育能力」「コンサルテーション能力」「コーディネート能力」「研究能力」「高邁な倫理観」の6つの能力を有する人材を養成する。

コース	領 域	概 要
教育研究	実践支援看護学	実践支援看護学領域では、看護学各分野における実践の基盤となる看護実践能力の開発をめざして、看護専門職者の発達や育成、看護の教育的機能の開発、さらに看護技術のエビデンスの開発に関わる課題について探究する。この領域は、看護教育学、看護技術開発看護学、人文社会学で構成される。具体的には、教育実践に埋め込まれた知の理解を深め、看護学教育に関する理論や関連分野の知見を活用した教育実践ができる能力を培う。さらに、看護技術開発にむけた多様な手法を学び、看護技術や看護実践の評価ができる能力を培う。
	療養生活支援看護学	療養生活支援看護学領域では、病院および外来の医療を中心として、療養生活を営む大人を中心とする個人とその家族の健康問題・課題と援助方法について探究する。この領域は、移植・再生医療看護学、がん看護学、慢性看護学、精神看護学、老年看護学、臨床医学で構成される。主に個人と家族、集団を中心とした療養生活支援に必要な専門的な看護技術、看護援助・教育方法や、支援のためのアプローチに向けた手法を学び、看とり、疾病回復、リハビリテーション、疾病予防の健康レベルの視点を重視した看護実践能力及び教育研究能力を培う。なお、がん看護学専攻は次世代のがんプロフェッショナル養成プランに選定されている。
教育研究／高度実践	地域家族支援看護学	地域家族支援看護学領域では、病院および外来から在宅、地域へと移行して生活をする人々や組織活動等集団を対象として、特にヘルスプロモーションの視点から課題と支援方法について探究する。この領域は、母性看護学、小児看護学、地域看護学、在宅看護学、社会医学、プライマリケア看護学で構成される。具体的には、発達段階を踏まえて個人・家族、あるいは、家族が居住する地域や組織等における個人あるいは家族のセルフケア能力向上を目指した看護実践能力及び教育研究能力を培う。個人・家族の健康の回復、さらに多職種との連携協働や地域ケアシステムおよび、社会資源の活用と開発等多様な手法を学び、あらゆる健康レベルにおける予防的視点を重視した実践能力を培う。

(1) 教育研究コースカリキュラム表

区 分	科 目 (○数字は単位数)		
共通科目	看護倫理② 看護理論② 看護政策論① 病態生理学②	看護学研究方法論② 看護管理学② フィジカルアセスメント論② 看護哲学②	看護現任教育論② コンサルテーション論② 臨床薬理学② 英語論文講読①
実践支援 看護学領域	看護教育学特論Ⅰ② 看護技術開発学特論Ⅰ② 看護技術開発学演習Ⅱ②	看護教育学特論Ⅱ② 看護技術開発学特論Ⅱ②	看護教育学演習② 看護技術開発学演習Ⅰ②
療養生活支援 看護学領域	移植・再生医療看護学特論Ⅰ② がん看護学特論Ⅰ② がん看護学援助論Ⅱ② 慢性看護学特論Ⅰ② 慢性看護学援助論Ⅱ② 精神看護学特論Ⅰ② 精神看護アセスメント論② 精神看護学治療論② 老年看護学特論② 老年看護援助論② 老年看護学演習Ⅱ②	移植・再生医療看護学特論Ⅱ② がん看護学特論Ⅱ② がん看護学演習Ⅰ② 慢性看護学特論Ⅱ② 慢性看護学演習Ⅰ② 精神看護学特論Ⅱ② 精神看護学援助論Ⅰ② 精神看護学演習② 老年看護アセスメント論② 老年看護サポートシステム論②	移植・再生医療看護学演習② がん看護学援助論Ⅰ② がん看護学演習Ⅱ② 慢性看護援助論Ⅰ② 慢性看護学演習Ⅱ② 精神看護学特論Ⅲ② 精神看護学援助論Ⅱ② 老年期病態治療論② 老年看護学演習Ⅰ②
地域家族支援 看護学領域	家族看護学特論② 周産期看護論② 周産期看護援助論Ⅰ② 周産期看護演習Ⅱ② 小児看護学特論② 小児看護アセスメント論② 地域看護学特論② 地域看護学演習② 在宅看護学特論Ⅰ②	母性看護学特論② 周産期看護援助論Ⅱ② 小児と病気② 小児看護学演習② 地域ケアシステム特論② 在宅看護学特論Ⅱ②	ウィメンズヘルス看護論② 周産期看護演習Ⅰ② 発達障害看護論② 地域母子保健論② 在宅看護学演習②
特別研究	特別研究⑧		

〈修了要件〉

2年以上在学して所定の単位（32単位以上）を修得するとともに必要な研究指導を受け、学位論文を提出し、かつ最終試験に合格すること。

〈履修方法〉

指導教員の指導のもと履修科目を選択し履修すること。必修科目をすべて履修し、専攻分野専門科目から3科目6単位以上（必修科目を含む）を履修する。ただし実践支援看護学領域科目の「看護教育学特論Ⅰ」を受講することを推奨する。

※ 2026年度は変更の可能性があります。

(2) 高度実践コースカリキュラム表

区 分	科 目 (○数字は単位数)		
共通科目	看護倫理② 看護理論② 看護管理学② フィジカルアセスメント論② 看護哲学②	看護学研究方法論② 看護教育学特論Ⅰ② コンサルテーション論② 臨床薬理学② 英語論文講読①	看護現任教育論② 看護教育学特論Ⅱ② 看護政策論① 病態生理学②
療養生活支援 看護学領域	がん看護学特論Ⅰ② がん看護学援助論Ⅰ② がん看護学演習Ⅱ② がん看護学実習Ⅲ③	がん看護学特論Ⅱ② がん看護学援助論Ⅱ② がん看護学実習Ⅰ② がん看護学実習Ⅳ③	がん病態治療論② がん看護学演習Ⅰ② がん看護学実習Ⅱ②
	慢性看護学特論Ⅰ② 慢性看護学援助論Ⅰ② 慢性看護学演習Ⅱ② 慢性看護学実習Ⅲ④	慢性看護学特論Ⅱ② 慢性看護学援助論Ⅱ② 慢性看護学実習Ⅰ②	慢性看護アセスメント論② 慢性看護学演習Ⅰ② 慢性看護学実習Ⅱ④
	精神看護学特論Ⅰ② 精神看護アセスメント論② 精神看護学治療論② 精神看護学実習Ⅱ⑥	精神看護学特論Ⅱ② 精神看護学援助論Ⅰ② 精神看護学演習② 精神看護学実習Ⅲ②	精神看護学特論Ⅲ② 精神看護学援助論Ⅱ② 精神看護学実習Ⅰ②
	老年看護学特論② 老年看護学援助論② 老年看護学演習Ⅱ② 老年看護学実習Ⅲ②	老年看護アセスメント論② 老年看護サポートシステム論② 老年看護学実習Ⅰ④	老年期病態治療論② 老年看護学演習Ⅰ② 老年看護学実習Ⅱ④
地域家族支援 看護学領域	家族看護学特論②	周産期看護論②	
	小児看護学特論② 小児看護アセスメント論② 小児看護学実習Ⅱ⑥	小児と病気② 小児看護学演習② 小児看護学実習Ⅲ②	発達障害看護論② 小児看護学実習Ⅰ② 地域母子保健論②
	ヘルスプロモーション論②	医療の質保証と安全管理②	
	プライマリケア看護学特論Ⅰ② プライマリケア看護学特論Ⅳ（小児）② プライマリケア看護学特論Ⅵ（老年）② プライマリケア看護学演習Ⅰ② プライマリケア看護学実習Ⅱ②	プライマリケア看護学特論Ⅱ② プライマリケア看護学特論Ⅴ（成人）② プライマリケア看護学特論Ⅶ（メンタルヘルス）② プライマリケア看護学演習Ⅱ② プライマリケア看護学実習Ⅲ④	プライマリケア看護学特論Ⅲ② プライマリケア看護学実習Ⅰ② プライマリケア看護学実習Ⅳ②
特別研究	課題研究④		

〈修了要件〉

2年以上在学して所定の単位（CNS42単位以上、NP50単位以上）を修得するとともに必要な研究指導を受け、学位論文を提出し、かつ最終試験に合格すること。

〈履修方法〉

指導教員の指導のもと履修科目を選択し履修すること。専攻分野の必修科目をすべて履修し、かつ選択必修科目から1科目2単位以上を履修する。

※ 2026年度は変更の可能性があります。

7 募集人員

研究科名	専攻名	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程（2年）	8名

8 募集コース・領域・専門分野・研究指導教員

コース	領域	専門分野	研究指導教員	アカウント
教育研究	実践支援看護学	看護教育学	池 西 悦 子	e.ikenishi
			川 北 敬 美	toshimi.kawakita
		看護技術開発看護学	二 宮 早 苗	sanae.ninomiya
		人文社会学	小 林 道太郎	michitaro.kobayashi
	療養生活 支援看護学	移植・再生医療看護学	寺 口 佐與子	sayoko.teraguchi
			谷 水 名 美	nami.tanimizu
		がん看護学	鈴 木 久 美	kumi.suzuki
			南 口 陽 子	yoko.minamiguchi
		慢性看護学	飛 田 伊都子	itoko.tobita
		精神看護学	山 岡 由 実	yumi.yamaoka
		老年看護学	樋 上 容 子	yoko.higami
		臨床医学	安 田 稔 人	toshito.yasuda
			津 田 泰 宏	yasuhiro.tsuda
	地域家族 支援看護学	小児看護学	鈴 木 美 佐	misa.suzuki
		地域看護学	草 野 恵美子	emiko.kusano
		在宅看護学	真 継 和 子	kazuko.matsugi
			伊 藤 真 理	mari.ito
			大 橋 尚 弘	takahiro.ohashi
		社会医学	土 手 友太郎	tomotaro.dote
高度実践	療養生活 支援看護学	がん看護学	鈴 木 久 美	kumi.suzuki
			南 口 陽 子	yoko.minamiguchi
		慢性看護学	飛 田 伊都子	itoko.tobita
		精神看護学	山 岡 由 実	yumi.yamaoka
		老年看護学	樋 上 容 子	yoko.higami
	地域家族 支援看護学	小児看護学	鈴 木 美 佐	misa.suzuki
		プライマリケア看護学 (ナースプラクティショナー)	真 継 和 子	kazuko.matsugi
			寺 口 佐與子	sayoko.teraguchi
			伊 藤 真 理	mari.ito
			大 橋 尚 弘	takahiro.ohashi

※メールアドレスは、『アカウント @ompu.ac.jp』となります。

9 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、または次の各号のいずれかについて 2026 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者とします。

- ①大学（専門職大学を含む。以下同じ）を卒業した者
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格⑤の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑨大学に 3 年以上在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑩本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 22 歳に達する者

※出願資格⑨⑩のいずれかによる場合は、出願前に出願資格審査を受けてください。

※高度実践コースを希望する場合には、日本国の看護師免許を取得後、希望する専門分野において通算 3 年以上の実務経験を有する者とします（ただし認定審査受験時は通算 5 年以上の実務経験が必要）。

10 出願資格審査（該当者のみ）

出願資格審査を申請するには、実務経験 3 年以上ならびに以下の項目のうち 1 項目以上の実績があること。

- ・学会発表（院内発表含む）
- ・現任教育
- ・社会活動（所属機関での委員会活動等）
- ・看護基礎教育機関における実績

(1) 提出書類

出願資格⑨⑩のいずれかによる場合は、11（6）の出願書類のうち、①②③⑦⑧を期日までに提出し、出願資格の審査を受けてください（必ず事前に研究指導教員に相談しておくこと）。

短期大学、各種学校等を卒業後、看護学関係の教育・研究機関または保健医療機関で勤務に従事している場合には、出願資格審査が必要です。

(2) 申請期間

2025 年 7 月 1 日（火）～ 2025 年 7 月 11 日（金）【締切日必着】

封筒に「看護学研究科出願資格審査書類（修士）在中」と朱書きし、簡易書留郵便で郵送してください（郵送のみ受付）。

(3) 申請書類送付先

〒 569-0095 大阪府高槻市八丁西町 7 番 6 号

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 出願資格審査担当

(4) 出願資格認定結果通知

出願資格認定審査の結果は、2025 年 7 月 25 日（金）を目途として発送予定です。

結果通知後、出願を許可された者は、検定料を本出願締切日までに振込みください。出願資格審査書類は、出願書類に充当します。

11 出願期間等

(1) 出願期間

2025 年 8 月 1 日（金）～ 2025 年 8 月 18 日（月）【締切日必着】

(2) 出願方法

①出願にあたっては、必ず事前に研究指導教員に相談しておくこと。

②出願書類は一括して封筒に入れ、「簡易書留郵便」で郵送してください（郵送のみ受付）。

(3) 入学検定料

入学検定料（¥35,000）を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込みください（手数料本人負担）。

銀行名：三井住友銀行（0009）

支店名：高槻支店（152）

口 座：普通 2329187

口座名：学校法人 大阪医科薬科大学

ガク）オオサカイカヤッカダイガク

(4) 出願書類送付先

〒 569-0095 大阪府高槻市八丁西町 7 番 6 号

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 出願（修士）担当

(5) 出願上の注意事項

①志望コース、領域、専門分野は、出願後変更できません。

②書類等に不備がある場合には受付できませんので、出願の際には十分注意してください。

③合格後、出願書類内容との事実相違があった場合、入学を取り消す場合があります。

④出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。

⑤入学検定料は、返還しません。

⑥出願に伴う個人情報を選考目的以外には利用しません。ただし、入学者の試験成績は、各種統計データ作成、教育・研究指導等の目的に応じて利用する場合があります。

⑦疾病・負傷や障害等のために受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合には、出願期間開始までに申し出てください。

(6) 出願書類（所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい）

出願書類	作成方法
①入学願書	本研究科所定の様式
②志望理由書	本研究科所定の様式
③研究業績調書	本研究科所定の様式
④長期履修申請書	本研究科所定の様式。希望する者のみ提出（要教員印）
⑤受験票	本研究科所定の様式・出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き 縦4cm 横3cmの写真を貼付（写真の裏面には氏名を記入しておくこと）
⑥入学検定料振込書	入学検定料の振込証明書（またはA T Mによる振込票）を入学検定料等振込書に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を印刷のうえ貼付して下さい
⑦卒業（見込）証明書（原本） ※出願する3ヶ月以内に発行したもの	・出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の長が証明したもの ・大学以外の教育機関で看護教育（看護師、保健師、助産師）を受けた者は、当該校の卒業（見込）証明書 ・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学士の学位授与証明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書 ・他の大学院を修了（見込）の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分も併せて提出して下さい
⑧成績証明書（原本） ※出願する3ヶ月以内に発行したもの	・出身大学の学長または学部長が作成したもの ・大学以外の教育機関で看護教育（看護師、保健師、助産師）を受けた者は、当該校の成績証明書 ・他の大学院を修了（見込）の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分も併せて提出して下さい
⑨免許証等の写し	看護師、保健師、助産師の免許証の写し（A4サイズへ縮小すること）
⑩その他	証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本等を同封してください。また、本学学部を卒業した者が博士前期課程に進学する場合は入学金が半額免除されます。該当者は入学金免除申請用紙を提出してください。

12 入学試験

(1) 試験科目

年月日	時 間	科目名	備 考
2025 年 9 月 13 日（土）	9:00 ～ 10:30（90 分）	外国語（英語）	辞書持込可（電子辞書不可）
	10:50 ～ 12:20（90 分）	専門科目	出題は共通科目と専門分野科目
	13:00 ～（約 10 分 / 人）	面接試験	順次実施

(2) 受験方式

受験方式	外国語（英語）	共通専門	専門	配点合計
A 方式	100 点	100 点	50 点	250 点
B 方式	50 点	100 点	100 点	250 点

受験方式は入学試験当日に選択してください。

(3) 注意事項

- ①試験当日は受験票を必ず持参し、試験開始の15分前までに着席してください。
- ②天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせるか延期することがあります。
- ③外国語試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。

また、公共交通機関の事故等による遅刻の場合には、会場で判断しますので、監督者の指示に従ってください。

- ④外国語試験を受験しなかった場合には、専門科目試験および面接試験の受験は認めません。
- ⑤試験中はスマートウォッチ等のウェアラブル端末の使用は認めません。
- ⑥昼食は各自で持参してください。
- ⑦試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用してください。

(4) 試験会場

大阪医科薬科大学 本部北キャンパス

(5) 合否判定方法

合否は、アドミッションポリシーに沿って、外国語（英語）試験、専門科目試験、面接試験の結果及び提出書類内容をもとに総合的に判定します。なお、受験者の上位から、研究科全体の定員および、各領域または分野の当該年度受け入れ可能数までを合格とします。

13 合格発表

2025 年 9 月 19 日（金）16 時（本研究科ホームページに掲載）

※合格者には、発表日に合格通知書及び入学手続き書類を発送します。

※電話による合否の問い合わせには一切応じません。

14 入学手続・学費等

(1) 入学手続締切

2025 年 10 月 7 日（火）15 時迄【締切日必着】

(2) 入学手続き書類

- ①誓約書・保証書
- ②個人情報の保護に関する法律に係る同意書
- ③学生証用写真台紙
- ④承諾書（在職したまま在学を希望する場合は可能な限り提出すること。所属長公印を要する。）

(3) 入学金・学費

教育研究コース

	初年度学費（入学金含む）		2 年次以降学費 （年額）
	前期（入学手続時）	後期（納入期限：9/30）	
入 学 金	200,000 円	—	—
授 業 料	240,000 円	240,000 円	480,000 円
教育充実費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
合 計	490,000 円	290,000 円	580,000 円

※本学学部卒業者は、入学金半額免除（出願時に入学金免除申請用紙を同封すること）。

※個人研究費 145,000 円／年が支給されます。

※高度実践コースは実習費 150,000 円／年を別途徴収します。

(4) 既納入金の返還

入学手続完了者で、2026 年 3 月 31 日（火）17 時 00 分までに入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納入金を返還します。

なお、一旦納入された入学手続金の返還時期については 4 月中旬以降となりますので予めご了承ください。また、個別の事情による返還時期の変更等申し出には一切応じられませんのでご注意ください。

15 長期履修制度

(1) 趣旨

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程2年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。

(2) 出願の認定

長期履修を出願することができる者は、入学試験に合格した者のうち次のいずれかに該当する者とします。

- ①病院、官公庁、企業等に正職員として在職（自営業含む）している者（パートタイム勤務不可）
- ②育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- ③その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者

(3) 修業年限

長期履修の修業年限は、博士前期課程は3年とします。

(4) 申請時期・提出書類

入学時より希望する方は入試出願書類と併せて、長期履修申請書を提出してください。なお、在学中の所定の時期においても長期履修申請書を提出することができます。

(5) 許可

長期履修許可は、合否通知と併せて行います。

許可された者は、入学後、指導教員のもとで長期履修制度に基づき履修します。

(6) 学費

長期履修許可者の学費は、標準修業年限（博士前期課程2年）分の額のみとなります。

16 その他

高度実践コース履修者は、実習期間中、学業（実習）に専念できる環境を整える必要があります。あらかじめご承知願います。

17 様式見本

入 学 願 書

※このページをコピーして使用しないでください

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（M）

大阪医科薬科大学長 殿					写真貼付 タテ4cm ヨコ3cm 〔3ヶ月以内に撮影したもので、無帽上半身のもの。〕	
私は、この度、貴大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程（修士） に入学を志願します。						
年 月 日						
志願者名 _____ (自署・印)						
フリガナ		※性別	生年月日	志 望 コ ー ス	コース	
名 前			(西暦) 年 月 日	志 望 領 域	支援看護学	
ローマ字	(旧姓)		才			
受験 資格	(出身大学名等) 大学 学部			専門分野		
	学科 専攻 卒業・卒業見込					
	(出身短大・高等専門学校・専門学校名等) 学校 学科					
	専攻 卒業・卒業見込					
現住所	〒 -					
	電 話 : - -		携帯電話 : - -			
	E-Mail :					
	書類送付先 : 〒 - (現住所と異なる場合)					
学 歴	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					

- (注)
1. 太枠内を記入する（数字・英字は半角）性別欄の記載は任意であり、未記載とすることも可能
 2. 学歴は高等学校卒業以降、入学、卒業の順に西暦で記入する
 3. 提出書類と入学願書の氏名が異なる場合は、改姓を証明する書類を添付すること
 4. 出願に際して本学が得た受験生の個人情報については、入試選抜以外の目的に利用しません

職 歴	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
資 格 免 許	年	月	看護師免許 年 月 日 第 号
	年	月	保健師免許 年 月 日 第 号
	年	月	助産師免許 年 月 日 第 号
	年	月	年 月 日 第 号
	年	月	年 月 日 第 号
賞罰・その他特記事項など			

志 望 理 由 書

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（M）

名 前	
①本研究科を志望する理由、②取り組みたい研究（動機・背景、研究内容）について、具体的に記述してください	

研究業績調書

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 (M)

名	前
①教育業績（学生指導、院内教育、非常勤講師等）、②研究業績（論文発表、学会発表等）、③社会活動（学会活動、ボランティア等）、④その他（職場内委員会活動、院内発表等）について（年次順に記載）	
記入例） ※記入例にしたがって記載してください。該当しない場合は「なし」と記載してください。 ①教育業績 学生指導： 2010年 ●●病院にて○○大学看護学部学生の臨地実習指導（△△看護学領域） 院内教育： 2012年 △△病院にて□□に関する研修講師 2015年 △△病院にて新入職員オリエンテーション「○○について」を担当 2020年 △△病院にてプリセプターとして新人看護師指導 非常勤講師： 2021年 ○○大学看護学部看護学科「科目名」 ②研究業績 論文発表： ○○○○, ○○○○, ○○○○, <u>○○○○</u> (○人中○番目) (2018). 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (英文の場合) <u>Mxxxxx, L.</u>, Exxx, L.K. (2xxx). Title, Journal name, xx(xx), pxx-xx 学会発表： ○○○○, ○○○○, ○○○○, ○○○○ (○人中○番目) (○○○年). 学会発表のタイトル, 第○○回○○○学会, (場所) 講演等： 演者名 (○○○年). 講演のタイトル, 講演会名, (場所) ③社会活動 学会活動： 日本○○学会 評議委員 20xx年xx月 第●●回日本●●学会 シンポジウム 座長 ○○研究会 世話人 など ④その他 職場内委員会活動： 2019年 △△病院 ○○委員 院内発表等： 2020年 △△病院「タイトル」	

研究指導教員

年 月 日

大阪医科薬科大学長 殿

名 前 _____ 印
(自 署)

長 期 履 修 申 請 書

下記のとおり、長期履修を希望したく申請します。

記

1 入学予定年月

年 月 入学予定

2 長期履修を希望する理由

以 上

2026年度 大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 博士前期課程（修士）	
副 票	
受験番号	(記入不要)
ふりがな	
名 前	
志望コース	コース
志望領域	支援看護学
専門分野	
写真欄	
写真欄 (縦4 cm×横3 cm) (注意) 1. 上半身、無帽、正面向き、 三ヶ月以内に撮影したもの（白黒又はカラー） 2. 点線内に合わせて全面の り付けしてください。	
☐ 外国語試験 ☐ 専門科目試験 ☐ 面接試験	

2026年度 大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 博士前期課程（修士）	
受 験 票	
受験番号	(記入不要)
ふりがな	
名 前	
志望コース	コース
志望領域	支援看護学
専門分野	
写真欄	
写真欄 (縦4 cm×横3 cm) (注意) 1. 上半身、無帽、正面向き、 三ヶ月以内に撮影したもの（白黒又はカラー） 2. 点線内に合わせて全面の り付けしてください。	
(注意) ・試験開始15分前までに着席すること ・本票は試験当日必ず持参し、机上におくこと。 ・外国語試験開始後20分経過後の遅刻は、受験を認めません。 ・外国語試験を受験しなかった場合には、専門科目試験および面接試験の受験は認めません。 ・試験中のスマートウォッチ等のウェアラブル端末の使用は認めません。	

入 学 検 定 料 等 振 込 書

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（M）

名 前	
入学検定料の振込証明書（またはＡＴＭによる振込票）を貼付して下さい。 ※インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を印刷のうえ貼付して下さい。	

博士後期課程（博士）

1 教育目的

（大学院看護学研究科規程第2条）

大学院学則に定める大阪医科薬科大学大学院の目的に基づき、本研究科の目的は、次の各号のとおりとする。

（2）博士後期課程は、豊かな学識とグローバルな視点を基盤に看護学の深奥を窮めることができ、国際社会に貢献できる自立した教育研究者を育成することを目的とする。

2 教育目標

以下の能力を持つ教育研究者の養成を目指す。

- ①研究者として自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力を培う。
- ②知的な素養とグローバルな視点を兼ね備えた高度な研究能力をもち、教育研究者として看護学教育を行うのに必要な教育開発力を育成する。
- ③課題探求能力、企画力、管理運営能力を高め、豊かな学識を持った指導能力を育成する。

3 ディプロマポリシー（学位授与の方針）

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科博士後期課程では、大学院学則に定める期間看護学研究科に在学し、所定の単位を修得し、教育要項に定める学位授与のために修得すべき内容を修得し、学位論文の審査を経た者に学位「博士（看護学）」を授与する。

学位授与基準

3年以上在学して所定の単位を修得するとともに必要な研究指導を受け、下記の能力を修得して学位論文を提出し、学位論文の審査を経て、最終試験に合格した者には、「博士（看護学）」の学位を授与する。

- ①体系的に活動できる教育能力と高度な研究能力をもち、教育研究の開発に貢献できる。
- ②教育や看護実践の場において科学的根拠や研究的視点をもって提言ができる中枢の指導力や統率力を身につけている。
- ③学際的、グローバルな視点から専門的課題を探究し、看護学の知識体系の発展に貢献できる。

学位論文審査基準

学位論文の審査及び最終試験は、以下の項目について行われる。

1. 研究目的の合理性
2. 研究の独創性
3. 研究計画、研究方法の妥当性
4. 結果の分析の緻密性、精度
5. 得られたデータに基づく論理的展開
6. 結果の発展性
7. 研究成果の学術上及び応用面での意義
8. 研究課題の背景、意義についての十分な知識
9. 研究遂行における対象者への倫理的配慮
10. 研究結果についての質疑への明晰な応答

4 カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

- ①国際化と研究の深化を促進する研究能力を培うために、教育研究の柱として、「実践支援看護学領域」「療養生活支援看護学領域」「地域家族支援看護学領域」の3領域で構成する。
- ②カリキュラムを構成する科目区分として、「基盤科目」「専門科目」「特別研究」をおく。
- ③学問分野の諸理論及び研究方法論を修め、高度な研究能力を養うために「看護科学研究論」「看護学研究法応用論（保健統計）」「看護学研究法応用論（実験法）」を配置する。
- ④教育能力を持った教育研究者の育成のために「看護学教育開発論」を配置する。

- ⑤主指導教員と副指導教員によるグループ指導体制のもとで、看護実践及び看護学の体系化に貢献できる博士論文の研究指導を行う。

上記のように編成した教育課程では、講義、演習等の教育内容に応じて、アクティブラーニング、オンライン教育なども活用した教育を実践する。

学修成果については、シラバスに成績評価基準を明示した上で厳格な成績評価を行う。また、学位審査の実施に際しては、研究科の定める基準により評価する。

5 アドミッションポリシー（入学受入の方針）

本学の理念を理解し、深い探求心と倫理観をもった高度な研究能力を自らが培う意欲をもち、多様な場で自立して教育研究開発ができ、グローバルな視点及び知的学識をもって社会に貢献することへの高い志を持った人を求める。

入学受入の基本方針

入学受入は、外国語（英語）試験、専門科目試験、口述試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断し、合格者を決定する。

6 教育課程

博士後期課程は、「実践支援看護学領域」「療養生活支援看護学領域」「地域家族支援看護学領域」の3つの領域で構成する。

領 域	概 要
実践支援看護学	実践支援看護学領域では、看護学各領域における実践の基盤となる看護実践能力の開発をめざして、看護専門職者の発達や育成、看護の教育的機能の開発、さらに看護技術のエビデンスの開発に関わる課題を探究し、さらに理論的、実践的に追求する。 また、専門的な看護技術と教育方法の評価や、看護専門職の発達課題の特異性・普遍性に応じた支援方法の探究を通して、専門領域における知識体系の構築のための研究能力を培う。
療養生活支援看護学	療養生活支援看護学領域では、病院および外来の医療を中心として、療養生活を営む大人を中心とする個人と家族の健康問題・課題の探究と援助方法について理論的、実践的にさらに追究する。また、療養生活支援に必要な専門的な看護技術、看護援助方法、教育方法などの看護実践評価や教育評価の探究を通して、看とり、疾病回復、リハビリテーション、疾病予防の健康レベルの視点を重視した専門領域における知識体系の構築のための研究能力を培う。
地域家族支援看護学	地域家族支援看護学領域では、病院および外来から在宅、地域へと移行して生活をする人々や組織活動等集団を対象として、特にヘルスプロモーションの視点から課題の探究と支援方法について理論的、実践的にさらに追究する。具体的には、発達段階を踏まえて個人・家族、あるいは、家族が居住する地域や組織等の健康課題の特異性・不変性を明確にし、支援方策の探究を通して、専門領域における知識体系の構築のための研究能力を培う。

カリキュラム表

区 分	科 目	単位数
基盤科目	看護科学研究論	2
	看護学研究法応用論（保健統計）	1
	看護学研究法応用論（実験法）	1
	看護学教育開発論	2
	英語論文演習	1
	異文化看護論	1

区 分		科 目	単位数
専 門 科 目	実践支援 看護学	実践支援看護学特論	2
		実践支援看護学演習	1
	療養生活 支援看護学	療養生活支援看護学特論	2
		療養生活支援看護学演習	1
	地域家族 支援看護学	地域家族支援看護学特論	2
		地域家族支援看護学演習	1
特別研究		特別研究	8

〈修了要件〉

3年以上在学して所定の単位（14単位以上）を修得するとともに必要な研究指導を受け、学位論文を提出し、かつ最終試験に合格すること。

〈履修方法〉

指導教員の指導のもと履修科目を選択し履修すること。専攻領域の必修科目をすべて履修し、かつ選択必修科目から1科目1単位以上を履修する。

※ 2026年度は変更の可能性があります。

7 募集人員

研究科名	専 攻 名	課 程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士後期課程（3年）	3名

8 募集領域・研究指導教員

領 域	研究指導教員	アカウント
実践支援看護学	池 西 悦 子	e.ikenishi
	二 宮 早 苗	sanae.ninomiya
	小 林 道太郎	michitaro.kobayashi
療養生活支援看護学	寺 口 佐與子	sayoko.teraguchi
	鈴 木 久 美	kumi.suzuki
	飛 田 伊都子	itoko.tobita
	山 岡 由 実	yumi.yamaoka
	樋 上 容 子	yoko.higami
	安 田 稔 人	toshito.yasuda
	津 田 泰 宏	yasuhiro.tsuda
地域家族支援看護学	鈴 木 美 佐	misa.suzuki
	草 野 恵美子	emiko.kusano
	真 継 和 子	kazuko.matsugi
	伊 藤 真 理	mari.ito
	土 手 友太郎	tomotaro.dote

※メールアドレスは、『アカウント@ompu.ac.jp』となります。

9 出願資格

次の各号の①かつ②～⑨いずれかに該当する者、または次の各号の①かつ②～⑨いずれかについて2026年3月31日までに該当する見込みの者とします。

- ①学術論文（学術誌のほか、学会誌、紀要なども含む。ただし論文名、著者名、序論、方法と結果、考察と結論、引用文献から構成され、査読を受けた論文とする）のうち筆頭論文が1編以上あること
 - ②修士の学位または専門職学位を有する者
 - ③外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
 - ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
 - ⑤我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
 - ⑥国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑦外国の学校、出願資格⑤の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - ⑧文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - ⑨本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達するもの
- ※出願資格⑦⑧⑨のいずれかによる場合は、出願前に出願資格審査を受けてください。

10 出願資格審査（該当者のみ）

出願資格審査を申請するには、実務経験3年以上ならびに以下の項目のうち1項目以上の実績があること。

- ・学会発表（院内発表含む）
- ・現任教育
- ・社会活動（所属機関での委員会活動等）
- ・看護基礎教育機関における実績

(1) 提出書類

出願資格⑦⑧⑨のいずれかによる場合は、11（6）出願書類のうち、①②③⑦⑧を期日までに提出して出願資格の審査を受けてください（必ず事前に研究指導教員に相談しておくこと）。

(2) 申請期間

2025年7月1日（火）～2025年7月11日（金）【締切日必着】

封筒に「看護学研究科出願資格審査書類（博士）在中」と朱書きし、簡易書留郵便で郵送してください（郵送のみ受付）。

(3) 申請書類送付先

〒569-0095 大阪府高槻市八丁西町7番6号

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 出願資格審査担当

(4) 出願資格認定結果通知

出願資格認定審査の結果は、2025年7月25日（金）を目途として発送予定です。

結果通知後、出願を許可された者は、検定料を本出願締切日までに振込みください。出願資格審査書類は、出願書類に充当します。

11 出願期間等

(1) 出願期間

2025年8月1日（金）～2025年8月18日（月）【締切日必着】

(2) 出願方法

- ①出願にあたっては、必ず事前に研究指導教員に相談しておくこと。
- ②出願書類は一括して封筒に入れ、「簡易書留郵便」で郵送してください（郵送のみ受付）。

(3) 入学検定料

入学検定料（¥35,000）を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込みください（手数料本人負担）。

銀行名：三井住友銀行（0009）

支店名：高槻支店（152）

口座：普通 2329187

口座名：学校法人 大阪医科薬科大学

ガク）オオサカイカヤッカダイガク

(4) 出願書類送付先

〒569-0095 大阪府高槻市八丁西町7番6号

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 出願（博士）担当

(5) 出願上の注意事項

①志望領域は、出願後変更できません。

②書類等に不備がある場合には受付できませんので、出願の際には十分注意してください。

③合格後、出願書類内容との事実相違があった場合、入学を取り消す場合があります。

④出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。

⑤入学検定料は、原則として返還しません。

⑥出願にともなう個人情報を選考目的以外には利用しません。ただし、入学者の試験成績は、各種統計データ作成、教育・研究指導等の目的に応じて利用する場合があります。

⑦疾病・負傷や障害等のために受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合には、出願期間開始までに申し出てください。

(6) 出願書類（所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい）

出願書類	作成方法
①入学願書	本研究科所定の様式
②研究計画書	本研究科所定の様式
③研究業績調書	本研究科所定の様式 ※学術論文（学術誌のほか、学会誌、紀要なども含む。ただし論文名、著者名、序論、方法と結果、考察と結論、引用文献から構成され、査読を受けた論文とする）のうち筆頭論文が1編以上あることが必要。筆頭論文1編を提出してください。
④長期履修申請書	本研究科所定の様式、希望する者のみ提出（要教員印）
⑤受験票	本研究科所定の様式 出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き 縦4cm 横3cmの写真を貼付（写真の裏面には氏名を記入しておくこと）
⑥入学検定料振込書	入学検定料の振込証明書（またはATMによる振込票）を入学検定料等振込書に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を印刷のうえ貼付して下さい。
⑦修了（見込）証明書（原本） ※出願する3ヶ月以内に発行したもの	出身大学の学長または研究科長が大学院修士課程もしくは大学院修士課程に相当するものを修了したことを証明したもの、または外国の学校教育機関の長が証明したもの
⑧成績証明書（原本） ※出願する3ヶ月以内に発行したもの	出身大学の学長または研究科長が証明したもの、または外国の学校教育機関の長が証明したもの
⑨免許証等の写し	看護師、保健師、助産師の免許証の写し （A4サイズへ縮小すること）

出願書類	作成方法
⑩その他	証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本を必ず同封してください。また、本研究科博士前期課程を修了した者が博士後期課程に進学する場合は入学金が免除、本学学部を卒業した者が博士後期課程に進学する場合は入学金が半額免除されます。該当者は入学金免除申請用紙を提出してください。

12 入学試験

(1) 試験科目

年月日	時 間	科目名	配点	備 考
2025 年 9 月 13 日（土）	9:00 ～ 10:30（90 分）	外国語（英語）	100	辞書持込可（電子辞書不可）
	10:50 ～ 12:20（90 分）	専門科目	100	出題は全分野共通
	13:00 ～（約 30 分 / 人）	口述試験	50	順次実施（開始時間は当日指示） 試験は研究計画に基づいて行う 資料持ち込み可

(2) 注意事項

- ①試験当日は受験票を必ず持参し、試験開始の 15 分前までに着席してください。
- ②天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせるか延期することがあります。
- ③外国語試験開始後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。
また、公共交通機関の事故等による遅刻の場合には、会場で判断しますので、監督者の指示に従ってください。
- ④外国語試験を受験しなかった場合には、専門科目試験および口述試験の受験は認めません。
- ⑤試験中はスマートウォッチ等のウェアラブル端末の使用は認めません。
- ⑥昼食は各自で持参してください。
- ⑦試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用してください。

(3) 試験会場

大阪医科薬科大学 本部北キャンパス

(4) 合否判定方法

合否は、アドミッションポリシーに沿って、外国語（英語）試験、専門科目試験、面接試験の結果及び提出書類内容をもとに総合的に判定します。なお、受験者の上位から、研究科全体の定員および、各領域または分野の当該年度受け入れ可能数までを合格とします。

13 合格発表

2025 年 9 月 19 日（金）16 時（本研究科ホームページに掲載）

※合格者には、発表日に合格通知書及び入学手続書類を発送します。

※電話による合否の問い合わせには一切応じません。

14 入学手続・学費等

(1) 入学手続締切

2025 年 10 月 7 日（火）15 時迄【締切日必着】

(2) 入学手続書類

- ①誓約書・保証書
- ②個人情報保護に関する法律に係る同意書
- ③学生証用写真台紙
- ④承諾書（在職したまま在学を希望する場合は可能な限り提出すること。所属長公印を要する。）

(3) 入学金・学費

	初年度学費（入学金含む）		2年次以降学費 （年額）
	前期（入学手続時）	後期（納入期限：9/30）	
入 学 金	200,000 円	－	－
授 業 料	240,000 円	240,000 円	480,000 円
教育充実費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
合 計	490,000 円	290,000 円	580,000 円

※本研究科博士前期課程修了者は、入学金免除（出願時に入学金免除申請用紙を同封すること）。

※本学学部卒業者は、入学金半額免除（出願時に入学金免除申請用紙を同封すること）。

※個人研究費 290,000 円／年が支給されます。

(4) 既納入金の返還

入学手続完了者で、2026 年 3 月 31 日（火）17 時 00 分までに入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納入金を返還します。

なお、一旦納入された入学手続金の返還時期については 4 月中旬以降となりますので予めご了承ください。また、個別の事情による返還時期の変更等申し出には一切応じられませんのでご注意ください。

15 長期履修制度

(1) 趣旨

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程 3 年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。

(2) 出願の認定

長期履修を出願することができる者は、入学試験に合格した者のうち次のいずれかに該当する者とします。

- ①病院、官公庁、企業等に正職員として在職（自営業含む）している者（パートタイム勤務不可）
- ②育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- ③その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者

(3) 修業年限

長期履修の修業年限は、博士後期課程は 4 年とします。

(4) 申請時期・提出書類

入学時より希望する方は入試出願書類と併せて、長期履修申請書を提出してください。なお、在学中の所定の時期においても長期履修申請書を提出することができます。

(5) 許可

長期履修許可は、可否通知と併せて行います。

許可された者は、入学後、指導教員のもとで長期履修制度に基づき履修します。

(6) 学費

長期履修許可者の学費は、標準修業年限（博士後期課程 3 年）分の額のみとなります。

16 様式見本

入 学 願 書

※このページをコピーして使用しないでください

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（D）

大阪医科薬科大学長 殿					
私は、この度、貴大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（博士） に入学を志願します。					
年 月 日					
志願者名 _____ (自署・印)					
フリガナ		※性別	生年月日		
名 前			(西暦)	志 望 域	支援看護学
(旧姓)			年 月 日		
ローマ字			才		
受験資格	(出身大学名等) _____ 大学 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 修了・修了見込				
	(出身短大・高等専門学校・専門学校名等) _____ 学校 _____ 学科 _____ 専攻 _____ 卒業・卒業見込				
現住所	〒 _____				
	電 話： _____		携帯電話： _____		
	E-Mail： _____				
	書類送付先： 〒 _____ (現住所と異なる場合)				
学 歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
職 歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				

写真貼付

タテ4cm ヨコ3cm

〔3ヶ月以内に撮影したもので、無帽上半身のもの。〕

(注)

1. 太枠内を記入する（数字・英字は半角）性別欄の記載は任意であり、未記載とすることも可能

2. 学歴は高等学校卒業以降、入学、卒業の順に西暦で記入する

3. 提出書類と入学願書の氏名が異なる場合は、改姓を証明する書類を添付すること

4. 出願に際して本学が得た受験生の個人情報については、入試選抜以外の目的に利用しません

職 歴 (続き)	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
資 格 免 許	年	月	看護師免許 年 月 日 第 号
	年	月	保健師免許 年 月 日 第 号
	年	月	助産師免許 年 月 日 第 号
	年	月	年 月 日 第 号
	年	月	年 月 日 第 号
賞罰・その他特記事項など			
社会活動			
本研究科を志望する理由			

研 究 計 画 書

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（D）

名 前	
研究の着想（①タイトル、②動機・背景、③研究目的、④研究方法）について、適宜文献を引用しつつ記述してください	

※1 頁以内に収めてください

研究業績調書

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（D）

名 前	
研究業績（①著書、②論文、③学会発表、④講演等）について（発表年次順に記載）	
記入例） ※記入例にしたがって記載してください。該当しない場合は「なし」と記載してください。 ① 著書 ○○○○, ○○○○, ○○○○, <u>○○○○</u>（○人中○番目）（2018）．執筆タイトル, ○○○編者名, ○○○○著書タイトル, ページ, 出版社名, 出版地 ② 論文 ○○○○, ○○○○, ○○○○, <u>○○○○</u>（○人中○番目）（2018）．論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ <u>Mxxxxx, L.,</u> Exxx, L.K. (2xxx). Title, Journal name, xx(xx), pxx-xx. ③ 学会発表 ○○○○, ○○○○, ○○○○, ○○○○（○人中○番目）（○○○年）．学会発表の タイトル, 第○○回○○○学会, （場所） ④ 講演等 演者名（○○○年）．講演のタイトル, 講演会名, （場所）	

(続き)

研究指導教員

年 月 日

大阪医科薬科大学長 殿

名 前 _____ 印
(自 署)

長 期 履 修 申 請 書

下記のとおり、長期履修を希望したく申請します。

記

1 入学予定年月

年 月 入学予定

2 長期履修を希望する理由

以 上

2026年度 大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 博士後期課程（博士）	
副 票	
受験番号	(記入不要)
ふりがな	
名前	
専攻	看護学専攻
志望領域	支援看護学
写 真 欄	
写真欄 (縦4cm×横3cm) (注意) 1. 上半身，無帽，正面向き， 三ヶ月以内に撮影したもの（白黒又はカラー） 2. 点線内に合わせて全面の り付けしてください。 ☐ 外国語試験 ☐ 専門科目試験 ☐ 口述試験	

2026年度 大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 博士後期課程（博士）	
受 験 票	
受験番号	(記入不要)
ふりがな	
名前	
専攻	看護学専攻
志望領域	支援看護学
写 真 欄	
写真欄 (縦4cm×横3cm) (注意) 1. 上半身，無帽，正面向き， 三ヶ月以内に撮影したもの（白黒又はカラー） 2. 点線内に合わせて全面の り付けしてください。 (注意) ・試験開始15分前までに着席すること ・本票は試験当日必ず持参し、机上におくこと。 ・外国語試験開始後20分経過後の遅刻は、受験を認めません。 ・外国語試験を受験しなかった場合には、専門科目試験および面接試験の受験は認めません。 ・試験中のスマートウォッチ等のウェアラブル端末の使用は認めません。	

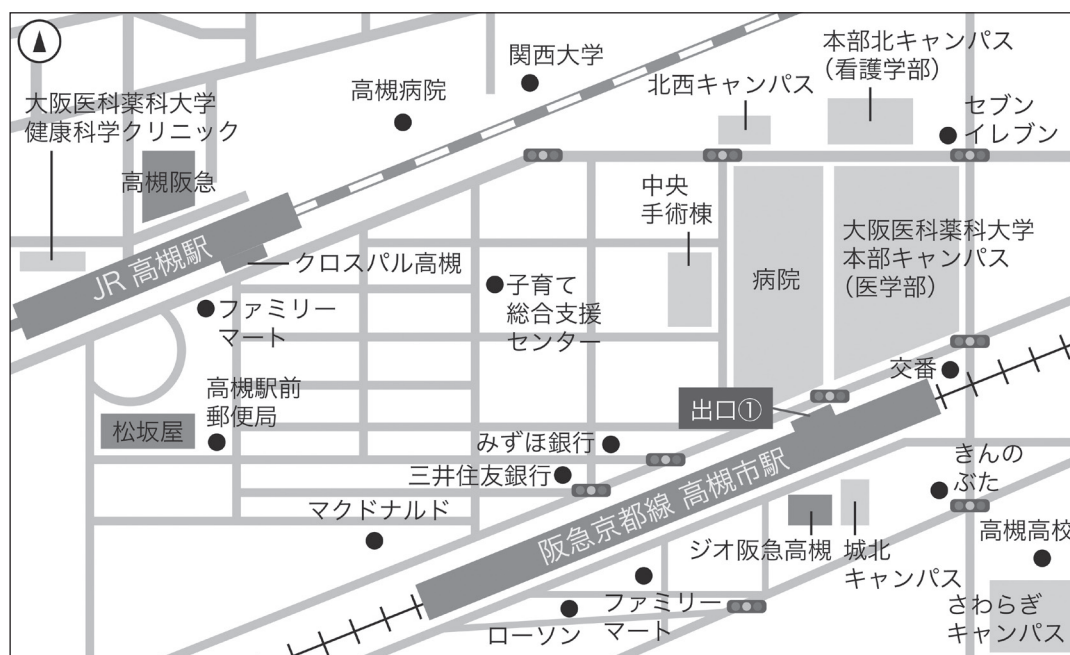
入 学 検 定 料 等 振 込 書

大阪医科薬科大学大学院看護学研究科（D）

名 前	
入学検定料の振込証明書（またはＡＴＭによる振込票）を貼付して下さい。 ※インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了の画面を印刷のうえ貼付して下さい。	

〈交通アクセス〉

受験会場：本部北キャンパス（看護学部）



JR 利用

- ・ JR 東海道本線（JR 京都線）「高槻」駅下車 南口より徒歩 8 分

阪急利用

- ・ 阪急京都線「高槻市」駅下車 出口①よりすぐ

〈出願に関する問い合わせ先〉

〒 569-0095 大阪府高槻市八丁西町 7 番 6 号

大阪医科薬科大学 学務部看護学事務課

T E L : 072-683-1221（代表）

E-Mail : kango-gs@ompu.ac.jp

事務取扱時間

平 日 8 時 30 分～ 16 時 50 分

土曜日 8 時 30 分～ 12 時 40 分（第 1・3・5 土曜日）

※第 2・4 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）・

創立記念日（6 月 1 日）は閉室

